

富秋中学校区等まちづくり検討会議（第8回） 議事概要

1. 日 時：令和元年6月13日（木）19：00～20：30

2. 場所：和泉市 人権文化センター 大会議室

3. 出席者：委員 17名
和泉市職員 19名
コンサルタント 2名

4. 議事次第

- (1) 委員の交替について
- (2) 部会での検討状況について
- (3) まちづくり構想（骨子案）について
- (4) 今後の予定

5. 議事概要

■委員の交替について

※以下、特記無き場合委員の発言

- 事務局より資料説明 資料1【富秋中学校区等まちづくり検討会議 委員名簿】
- 新任委員より一言ずつ挨拶をいただいた。

■部会での検討状況について

- 事務局より資料説明 資料2-1【子育て・教育部会報告】
資料2-2【住環境・コミュニティ、福祉合同部会報告】
資料2-3【地域活性化部会報告】

■まちづくり構想（骨子案）について

- 事務局より資料説明 資料3【富秋中学校区等まちづくり構想（骨子案）】

・「団地で子育てプロジェクト」に取り組むのはいいが、市営住宅では収入が高くなると出ていく必要がある。それに対する方策は何か考えないのか。

⇒まちの核に「民間分譲住宅等」を導入することを記載している。（事務局）

・小中一貫校化を大人の目線で考えすぎだ。子どもの立場で考えるべき。富秋中学校の位置に一貫校を整備すると、今まで池上小学校まで歩いていけばよかった子が中学校までの狭い通学路を登校することになる。

⇒富秋町の子は、これまでその通学路を歩いて池上小学校まで通ってきた。同じことではないか。

⇒本日の骨子案の中でも表現しているが、小中一貫校化にともないこれからつめていかなければならぬ事項についても、構想の中に表していくように考えている。（事務局）

- 小中一貫校化を「中期」に位置付けているが、そのころには子どもの数がどうなっているかわからない。
 - 小学校の跡地が分譲住宅地になっているが、避難場所がなくなる。学校をそのままにするか、あるいは公園にすべきだと思う。
 - 構想案の中身はこれでいいと思うが、これでどれくらい人が来てくれるか、そこが大事。教育の問題が大きい。現在の教師は昔ほど熱が入っていないのではないか。
- ⇒12年ほどPTAに携わっているが、教師に熱が入っていないということではない。むしろ、保護者が学校と同じ方向を向けていないことが問題。いわゆるモンスターペアレントと言われるような人もいる。この小中一貫校化の議論は、今まで無関心だった保護者も学校教育に関心をもってくれるいいきっかけになると思っている。
- 話が大きくなりすぎている。幸、池上をそれぞれ小中一貫校にするというのならまだわかるが、幸と池上を一緒にする意味がわからない。また、なぜ小中一貫校化とまちづくりを一緒に考えるのか。
 - 「まちの核」と言っているが、本当の核は駅のはず。
 - 今日の骨子案は、まだたたき台なので、意見をどんどん言ってほしい。何らか反映して構想をまとめていきたい。一貫校化とまちづくりを別に考えるという考え方もあるが、まちづくりと密接に関係するので、一緒に考えている。
 - サウンディング調査の流れで、今からでも民間の方からの意見を聞いてもらえるのか。スポーツとしてのスケボーパークをつくりたいという人がいるが、そういった施設を考えるのも一つの案と思う。
- ⇒具体的な計画をつくっていくのはまだ先なので、その段階で検討すればよいと考える。ただし、まちづくり構想の段階で考え方として入れるため意見を聞くべきというのであれば聞く。
- まちの目標像のところ、これまでこのまちで取り組んできた「人権」という単語を入れてほしい。
 - 多世代交流拠点について、部会報告の資料に「広場 80 m²」と書かれているが、狭すぎる。子どもが心置きなく遊べる広さが必要。プレイパークでも 1000 m²くらいが必要と言われている。また、青少年センターの行先として示されている資料では、子供のためのスペースが確保できているように思えない。
- ⇒広場というのは、資料にあるように屋内スペースの延長となる部分のイメージで、屋外には公園が隣接していることを前提に書いている。表現が紛らわしいので修正する。多世代交流拠点の内容について、まちづくり構想の中でどう表現するかについては、今後精査していく必要がある。(事務局)
- 後で見学会の話題がでると思うが、堺市で青少年センターを人権文化センター等と統合したが、子どもが入って来にくくなったと聞いている。子どもが入って来やすい場所とすることは重要。
 - ここで 3000 m²という床面積が出ているが、「コンパクトな施設」と言っても、ただ小さくするという意味ではなく、「コンパクトで使いやすい・管理しやすい施設」という意味で、5000~6000 m²であってもよい。また、駐車場なども確保が必要。
- ⇒3000 m²の施設というのはそれなりの規模ではあるが、先に指摘のあった事項も含めて、まちづくり構想の中での表現の仕方を次回に相談したい。そのための資料を出せるよう考えたい。(事務局)
- 市営住宅の話なども書き込まれていないので、そのあたりも次回検討したい。

■今後の予定について

- 事務局より口頭説明
- ・ 次回、7月に本日の意見返し、7月末頃には本文のついた素案の形をお示しする。その後地域説明会とアンケートを8月に同時並行的に実施し、10月のまとめにむけて進めていく。

■その他

- 市より6/28の見学会について説明。

以上